取扱説明書　水中灯本体

HE0000228C11

この度は、弊社水中灯を御採用頂きまして、誠に有り難うございます。
お求めの製品を正しく使って頂く為に、御使用の前に取扱説明書をご一読下さい。

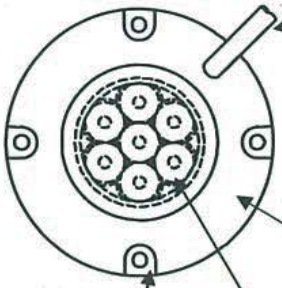
この説明書は、工事が終わりましたら、この製品をお使いになるお客様にお渡し下さい。

■品名

水中灯本体

型式：YAD－2524－N
　　YAD　2524－L

■各部の名称とご使用方法（水中灯本体）



本体ケーブル（電源線用）　2PNCT　ケーブル芯線（0.75sq　2芯）

・ケーブルを強く引張ったり、鋭角に曲げたりしないでください。
（曲げ半径Ｒ＝７ｃｍ以上）ケーブルの劣化や断線の原因となります。
・ケーブルで本体を吊るしたり、ケーブルのみを持って持ち運びしないでください。
・本体固定時、ケーブルも取付面にしっかりと固定してください。緩んだ状態でご使用になると、浮遊物を引掛けたり、ケーブル劣化の原因となります。

本体ケース

・直接、強い衝撃を与えないでください。破損し、けがをする場合があります。
・本体ケースに付着した汚れを取る場合は、シンナー・アルコールなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。破損、変質の原因となります。
水洗い後、乾いた布等で軽く拭いてください。強く擦ると傷が付く場合があります。

ＬＥＤ

注意

・点灯中のＬＥＤを直視しないでください。目の障害を引き起こす可能性があります。

取付け穴（M5 用）４箇所

・取付け時推奨ナット締め付けトルク（Ｍ５）：１．３～１．５Ｎ・ｍ
・取付け時、固定用のボルト・ナットは４箇所均一に締め付けてください。片締めになると破損の原因になります。
・取付けはフラットな面に取付けてください。段差があると破損の原因となります。
・取付け時、本体周りにコーキングされる場合は、本体のアクリル樹脂に影響の出ない物をご使用ください。

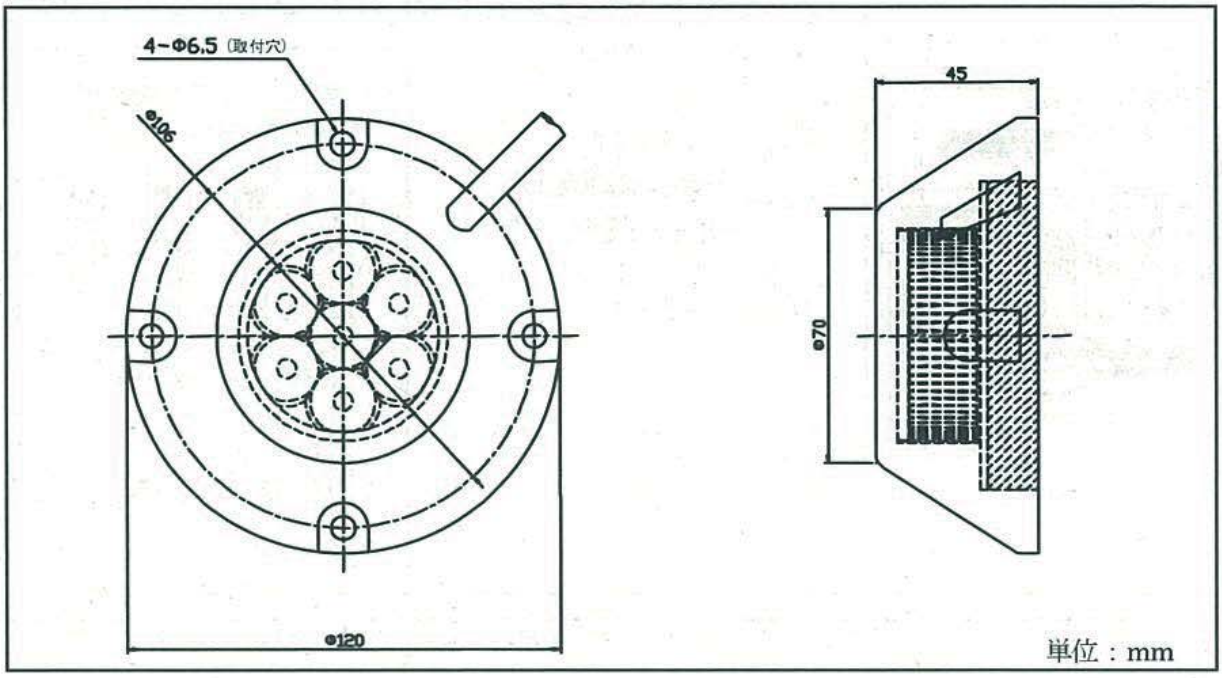
警告

・噴水専用型器具です。プールや浴室など人の入る場所には設置できません。絶縁不良による漏電、感電事故の原因となります。
・真水専用です。海水・温泉での使用はできません。
・点灯は必ず水中で行ってください。水中以外で点灯させた場合、高温となり感電・火災・故障の原因となります。
（空気中での点灯検査は５分以内としてください。）
・水中灯本体の設置は、水深２ｍ以内、水温 0～35℃以下の環境に設置してください。その他の条件を超えると故障の原因となります。また、点灯させていない場合の水温は０～６０℃以下としてください。
・専用の電源あるいは制御盤以外では点灯させないでください。故障の原因となります。
・分解・改造などやご自身での修理はしないでください。安全が保障できなくなり危険です。
・本体は定期的に点検していただき、破損・亀裂等が発見された場合は早目に交換してください。そのまま使用されると、予期せぬ事故の原因となります。
・設置工事方法は、電気設備の技術基準の解釈第 187 条および内線規定 3550 節を参照してください。

注意

・薬品の混ざった水中や油が混ざった水中、腐食性液体の混ざった水中でのご使用は破損・変質・故障の原因となる場合があります。事前にご確認をお願いいたします。
・本体ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。点灯時、動作が不安定になる場合があります。

■外観図



■梱包物

品名	数量	備考
水中灯本体	1個	ケーブル30m付き

※取付用ねじ・クランプは同梱されておりませんので、別途ご用意下さい。
※点灯するためには別途、専用の電源あるいは制御盤が必要です。

■製品仕様

専用電源と水中灯本体1セットでの定格値は以下の通りとなります。

定格電流	250mA
入力電圧	23V
消費電力	7.8W
発光色	白色(YAD-2524-N)電球色(YAD-2524-L)
本体ケーブル	30m付
質量	約3.3kg

■施工方法

・水中灯本体は以下の条件を満たす場所に設置してください。
　1.取付面が平らな場所
　2.水深2m以内の水中
・取付面には図1のような加工を施し、水中灯をM5ボルト施工後、ナットで4箇所均一に固定してください。
・本体ケーブルはクランプでしっかり固定してください。
　1.曲げ半径をできるだけ大きくしてください。(曲げ半径7cm以上)
　2.ケーブル長さに注意して曲げ部分の自由度を確保してください。
　3.結束部でケーブルを急激に曲げないでください。
・本体ケーブル長さを調整し、余分なケーブルはカットしてください。

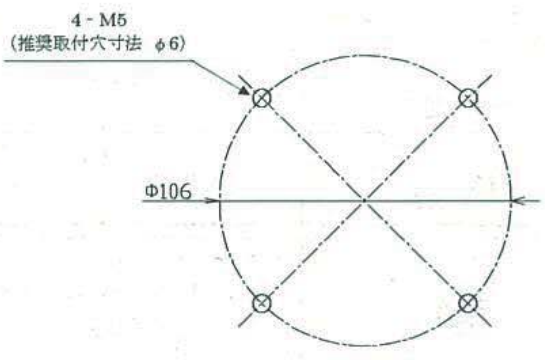


図1　水中灯取付加工例

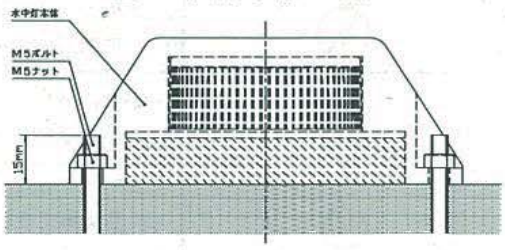


図2　水中灯本体の取付（断面図）

※ケーブルついて

警告

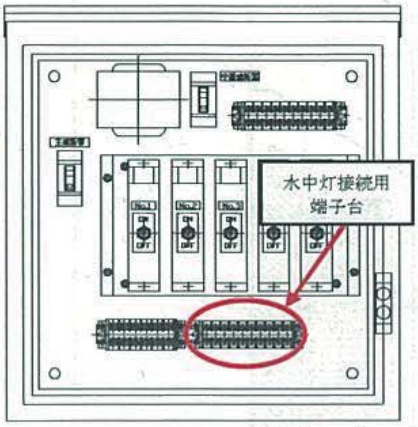
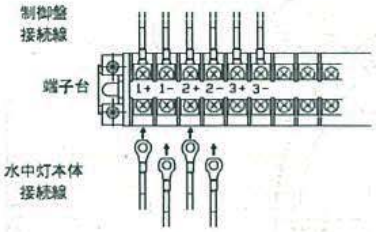
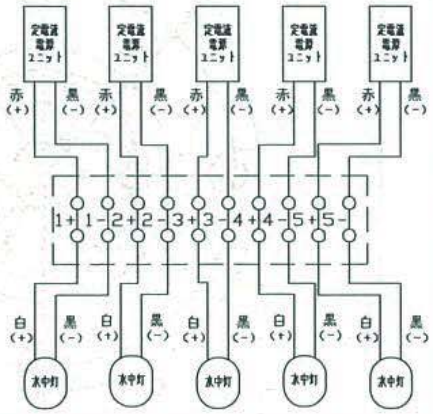
・ケーブル施工時には、必ず金属管工事をしてください。
・施工時には必ずケーブル被覆にキズをつけないよう施工してください。
・ケーブルには過度な応力をかけないで下さい。

■電源・制御盤への接続

水中灯本体の点灯には、以下の機器が必要です。

・水中灯制御盤（別売）－　YTG-350(5 灯),371(4 灯),370(3 灯),369(2 灯),368(1 灯)：制御盤内に専用電源を 1~5 灯内蔵

水中灯本体は下表の要領に従って水中灯制御盤へ接続してください。

接続箇所	接続方法	接続図
 制御盤 - 内部配置図	ケーブル線先の外皮部分を取り除き、2 芯のケーブル芯線部に丸型圧着端子(M4 用)を圧着し、端子台へ取り付けてください。  ※水中灯本体を接続するためには、別途制御盤へ穴加工が必要です。	ケーブル内の芯線 2 本（白線・黒線）は、必ず同じ端子番号に取り付けてください。ケーブル芯線の白線（＋）は＋標記の端子台に接続し、ケーブル芯線の黒線（－）を－標記の端子台接続してください。 

警告

・水中灯の接続時は必ずスイッチ回路を切った状態で行い、配線に間違いないことを確認した上で点灯試験を行ってください。

・水中灯の接続線には極性がありますのでご注意ください。極性を間違えると正常動作しません。

・制御盤筐体部には本体ケーブル入線用穴は設けておりません。施工時にはケーブル入線用穴の加工を施してください。また、結線後のケーブル引き込み部分には充分に防水処理を施してください。

■ＬＥＤについて

・ＬＥＤの製品特性上、同一型式品でも製品ごとに発光色や明るさにバラツキがある場合があります。また経年によるそれらの減退率にもバラツキがありますのでご了承ください。

■安全上の注意

警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

	・異常を感じた場合、速やかに使用を中止してください。 ・本体の取付けは、機器重量に耐える所に、取扱説明書に従って確実に行ってください。 取付けに不備があると、本体の破損・けがの原因となります。 ・本体を確実に取付けてください。
	・分解・改造は絶対に行わないでください。 （性能劣化の原因）
	・安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合が発見された場合は、そのまま使用せず、修理・交換を依頼してください。
	・当てたり傷を付けたりしないでください。 ・部品交換または清掃で外した箇所は確実に取付けてください。不完全に取付けると、物損・けがの原因となります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認下さい）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口まで御相談ください。